

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名：和歌山県立向陽高等学校 田中克介
2. 講師氏名：名城大学 薬学部 薬学科 Beata Agnieszka BOBER 博士
3. 同行者氏名：名城大学 薬学部 薬学科 原田 健一 教授
4. 実施日時：平成 26 年 1 月 23 日（木） 14:25 ～ 15 : 35
5. 参加生徒：1 年生 78 人、 ___ 年生 ___ 人、 ___ 年生 ___ 人（合計 78 人）
備考：環境科学科の生徒
6. 講演題目：（英文） Impact of cyanobacteria on water environment
（和文） 水環境におけるラン藻（アオコ）の影響

7. 講演概要：

名城大学の Beata Agnieszka BOBER 博士を招聘し、水環境におけるラン藻（アオコ）の影響における先端研究について講演して頂いた。講義のスタイルは、プレゼンテーションのスライドを使用し、英語によって講義をした後、通訳者による日本語をおりませながら、質疑応答を行なった。

講義内容は自己紹介に始まり、さらに母国の生活スタイルや教育について簡単に説明して頂いた。さらに本論の研究内容に至っては、シアノバクテリアの生活環や、シアノバクテリアが生産する化学物質の特性について説明して頂き、環境問題とどのようなかわりがあるのか理解を深めた。

8. 使用言語：英語と日本語

9. 講演形式：

(1) 講演時間 60 分 質疑応答時間 10 分

(2) 講演方法（例：プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など）

プロジェクター使用による講演、実験・実習は有り

(3) 通訳（例：同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明）

発表、質疑応答時に同行者による通訳、説明有り

(4)事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)

研究の内容の基本知識とキーワードを翻訳するための予習プリント

10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
(支給経費無し)

11. その他特筆すべき事項: